

# 新宿 ビズタウン ニュース

Shinjuku BizTown News

No. 38  
平成29年9月30日号

目次

スポーツ産業に見る‘ものづくり’の知恵……1-5  
インフォメーション……6-8  
新宿区中小企業の景況……8

## スポーツ産業に見る ‘ものづくり’の知恵

国内におけるスポーツ産業の誕生は、運動用品の国産化が始まった明治期以降と言われていますが、その後“用品産業”だけでなく“施設・空間産業”や“情報産業”としても多面的な進化を遂げてきました。アスリートの能力向上を支えるスポーツ用具の開発、自然環境を活かしたスポーツ施設の建設や提供、また電波や通信を介して試合を観戦したり情報を得ることができる情報サービスの提供などもその例です。

今回は私たちにも身近なスポーツ用品の分野で、魅力的な製品の開発・販売を行っている4社を訪ねてみました。





## アウトートップ 株式会社

新宿区西早稲田2-1-23 / 電話03(6459)2828  
http://www.outertop.jp

### こだわりを詰め込んだグリップ

平成23(2011)年創業のアウトートップ株式会社は、スポーツサイクル用グリップ「SHAKES」(シェイクス)を製造・販売しています。代表取締役の小林克至さんは自身の競技生活で培った知見を活かし、技術力の高い日本国内で精緻なものづくりに取り組んでいます。

「スポーツ用自転車の機能進化は目覚ましいものの、グリップはメーカーの純正品のみ。最も長い時間、触れている部品でありながら、手の大きさを握り心地への配慮、雨や汗に対する滑り止め加工などもない。ゴルフグリップの開発に携わった経験を活かし、これまでにないグリップを開発しようと考えました」

そのため「SHAKES」には、硬さを選べる、撥水性のある特殊なシボ加工(細かい凹凸をつけた表面加工)でグリップ力をアップさせる、国産素材・国内生産に徹して安定した品質を



代表取締役の小林 克至(かつゆき)さん

### 誰もが知っているブランドを 目指す

維持するなど、アウトートップならではのこだわりが詰まっています。



硬さを選べるカスタマイズ性がうれしい。水をはじく特殊なシボ加工も施されている



スポーツサイクル専用グリップ「SHAKES」

自転車競技はロードレース、トラックレース、ヒルクライム、シクロクロス、マウンテンバイクなど種類の増加もあり、競技の総人口は増加傾向にあります。「SHAKES」を商品化して約1年、新宿区の「ものづくり産業支援事業補助金」を利用して金型を作成し、量産を開始して約半年が経ち、自転車業界内でも「着眼点が良い」という評価とともに、製品の認知度も高まってきた。

ました。

「純正品を基準にして、ほとんどの人はソフトタイプを、競技選手はハードタイプを選びます。「SHAKES」を装着すると、手の小さい女性やジュニアも安心感が高まるようです」

とはいえ、2個セットで3000円の消耗品の売上げのみで会社を維持するのは難しく、自転車用品やゴルフ用品の物販、広告、イベント運営など、多彩な事業を手がけています。

「今はいろいろなことをやっていますが、「SHAKES」を誰でも知っているブランドに育て上げるのが目標です。ちょっと自転車屋さんに立ち寄ったとき、サイクリングが楽しくな



豊富なカラーバリエーション

るようなグッズを見つけた」という感覚で使ってほしい。自転車屋さんにもバッテリーを交換するときグリップも代える習慣をつけるよう、お勧めしています」



成型から着色はもちろん、装着まで「手作業」にこだわっています

### 競技者の最高のパフォーマンスを 引き出す

「SHAKES」についてはSNSを通じて海外からも反応が寄せられ、イタリアの自転車メーカー・ピアンキの依頼で、同社のロゴ入りのグリップを作成しました。8月末にはドイツのフリードリヒスハーフェン市で開かれるユーロバイク展に出展し、販路拡大のきっかけを得ました。

「秋にはトリアスロンの自転車用のグリップを発売したい。イオン粒子を含有した素材でリラククス効果が得られるものなど、スポーツの道具としての自転車に科学の視点を取り入れ、競技者のパフォーマンスを最大限に引き出せる商品を開発していきたい」と思っています」





代表取締役の西牧 寛次さん

## 株式会社 エヌエスケーエコーマーク

新宿区西早稲田1-18-9 イマイオフィス早稲田6階／電話03(3207)4004  
http://www.nskechomark.co.jp

### スポーツウエアの可能性を広げる

各種スポーツウエアの製造を手がける株式会社エヌエスケーエコーマークは、ユニフォームのマークのデザイン制作を得意とし、昇華転写で加工するユニフォーム生産と、ストレッチ性の高い転写マーク「のびのびマーク」で大きな注目を集めています。

代表取締役の西牧寛次さんによると、開発のきっかけは「超高速水着」伸縮性の高い素材に対応できるマークの加工技術が求められたことでした。

「メーカーと素材から共同研究を始めて、伸びて戻る転写マーク『のびのびマーク』を開発、平成24(2012)年に特許を取得し、マークの印刷や形状によってテーピングのような引き締め効果が得られることも実証できました。繊維製品の安全性を保証する『エコテックス規格』の認証も平成21(2009)年に取得しており、直接肌に触れても安心、安全な品質を保持し

つつ、機能性の向上にも寄与できると思っています」

### 原点は独自の昇華転写技術

西牧さんはもともと大のスポーツ好き。高田馬場のスポーツ用品店に勤務した後、昭和60(1985)年に同社を創業しました。

「ユニフォームのマークは刺繍加工から始めた会社が多いのですが、当社はシルクスクリーンプリントからスタート。スポーツウエア用のポリエステル著しい進化に伴い、他に先駆け



伸びるマークを布地に転写したところ



「2016世界発信コンペティション」で大賞に輝いた「のびのびマーク」を使ったアンダーウエア

て取り入れた昇華転写を用いたラグビー、サッカーなどのスポーツユニフォームで、会社の基盤が固まりました」

ポリエステル染色技術である昇華転写は、当時の日本では傍流でしたが、スポーツアパレルではポリエステルが中心になると考えた西牧さんの予想が的中。加工設備や染料などの開発を重ね、発色がきれいで加工法



屋外での夜間作業着などに求められる光る素材。これまではシルバーばかりだったものからカラフルなテープも開発



も簡便な独自の昇華転写マーケティングシステムを考案し、平成12(2000)年に特許を取得しました。「国旗やスポンサーのマークは美しく正確に、選手がどんなに激しく動いても剥がれない、割れないようにプリントすることが求められます。平成5(1993)年に開幕したJリーグのユニフォームに採用されたことで認知度が高まりました」

### ベトナムを拠点に世界の舞台へ

新宿区内で工場を維持するのは環境的な面からも難しく、現在は群馬県吾妻郡東吾妻町に吾妻工場、ベトナム南部のロンアン省にベトナム工場を持っています。

「ベトナムへ進出のきっかけはデザインの海外委託。経済成長が続くASEANは有望な市場であり、海外のスポーツブランドとビジネスを展開するにも有利な環境だと考えています」

平成28(2016)年には東吾妻町内にあった2カ所の工場を、廃校となった中学校跡地に統合するとともに、元プロ選手による指導などを通じてスポーツイベントを企画し、地元との振興にも寄与しています。

「吾妻工場で企画デザインから縫製まで一貫してできる機能を構築し、それをベトナムにも展開したい。もちろん、本社はずっと新宿区です(笑)」



## 株式会社 ダーカー

新宿区早稲田鶴巻町540 / 電話 03(3202)9236  
http://www.darker.co.jp



代表取締役の岡田 和彦さん

### 日本の卓球界を支えた名品

ダーカーは知る人ぞ知る卓球ラケットの老舗メーカー。その原点は代表取締役・岡田和彦さんの父秀太郎さんが、戦後の東京で羽子板や卓球ラケットを行商したことに遡ります。

日本は昭和27(1952)年、インドで開催された卓球世界選手権に戦後初めて参加し、7種目中4種目で優勝という快挙を達成。秀太郎さんは誰でも手軽に楽しめる卓球のブーム到来を確信し、行商中に知り合った職人を集めて「岡田卓球用品製作所」を設立しました。そして国産檜の柁目を贅沢に使った日本式檜単板ラケット「スピード」を生み出します。世界選手権で優勝した松崎君代さん、森沢幸子さん、河野満さん、小野誠治さんらがスピードの愛用者でした。

ということでしょうか

### 卓球界初の新素材を採用

昭和56(1981)年、株式会社に変更した頃から、卓球界ではそれまで主流だったペンホルダーからシェイクハンドへの移行が急速に進みました。

「当社は根強いファンに支えられていたものの業績は低迷。合板やカーボンのラケットも製造してみましたが、「ダーカーII檜単板」のイメージが強過ぎて売れませんでした。試行錯誤の結果、平成15(2003)年に発表した7P2Aラケットが高級木曾檜の合板ラケットの名品として、ようやく市場に受け入れられました」

さらに大きな転機となったのが、東洋紡が開発したスーパー繊維「イザナス<sup>®</sup>」との出会いです。衝撃を吸収する能力が高く、軽くて水に強いという特



卓球界では初めて、水に浮くほど軽い超高強度・高弾性率の新素材を使い、カーボンと組み合わせることで、衝撃を吸収し球持ちの良さもキープした「リベルタ・シナジー」



高級木曾檜の単板を使用したダーカーの名作「スピード90」

徴を持つイザナス<sup>®</sup>とカーボンを混紡した卓球界初の新素材をラケット板に挿着するアイデアは、そこから生まれました。

「新宿区の『ものづくり産業支援事業補助金』を利用してサンプルを制作、性能評価で上々の手応えを得ました。それが今年から販売を開始した『リベルタ・シナジー』のシリーズで、ボールをホールドしてからの反発させる。言い換えれば「弾かない」という、ダーカー本来の打球感を再現できました。ユーザーからも球もちが良い、球をつかむ感覚で打てる、打球感がソフトなどの感想が届いています」

### 選手の共感を得られるラケット

世界中の卓球用品メーカーが販売競争を展開している卓球王国中国にダーカーが進出したのは平成17(2005)年。販売代理店を通じた販売だけでなく、中国市場に向けた商品づく



単板ラケットの原料。樹齢約300年の木曾檜



切りだし。年輪を見ながら切っていく



ラケットの大きさに面を採っていく

りも進めてきました。

「最近の日本選手の活躍は大きな追い風。トップ選手はライバルのラケットにも関心が高く、口コミの効果は絶大です。イザナス<sup>®</sup>とカーボンの混合比率を変えるだけでも無限の可能性がある。今後は東南アジアやヨーロッパへのサンプル出荷を手がかりに、選手の共感を得られるラケットで市場を広げていきたいと思えます」





## 株式会社 ミツボシ

新宿区市谷本村町2-11 外濠スカイビル9階・同ビル5階 東京ショールーム  
電話 03(6457)5601 <http://www.mitsuboshi-web.jp>

### 剣道防具は伝統工芸品

株式会社ミツボシは今年が創業65周年の武道用品総合メーカー。京都府の武道具メーカー・株式会社東山堂と合併して4期目を迎えています。

代表取締役社長の木村利英さんによると「競技人口の関係もあり、売上げの中心は剣道・柔道。創業者が学校における武道必修化に尽力したこともあり、小売店を通じた学校販売も事業の柱となっています」

### 剣道具や防具、剣道

着の場合、ビギナー向けの普及品は中国製で、竹刀もインドネシア製がほとんど

ですが、ミツボシでは実力のある選手層に人気の国産製品を豊富にそろえ、なかでも6mmのピッチ刺しが美しい「峰」シリーズで知られています。

「剣道の防具は藍染め、漆塗りなど、日本の伝統工芸の粋を集めたもので、



国産の最高級ミンシで製作されているピッチ刺しが自慢のブランド「峰」



代表取締役社長の木村 利英さん

革、紺反生地を使用したオーダーメイド。細部のオシャレも楽しめます。耐久性に優れ、使い込むほどに身体に馴染んでいくため、実力者からも高く評価されています」

### 伝統技術の継承も役目のひとつ

素人目には同じように見えても、柔道着や合気道着は刺し子の分厚い生地、空手着は帆布という違いがあります。このうち、オリンピック競技として定着している柔道では生地の硬さなどに細かな規定が定められています。ミツボシは全日本柔道連盟(全柔連)の公認を得ています。

「今年の5月に柔道・合気道着の新ブランドとして、安全性、耐久性、美しさなどを重視した『REIGEAR(レイギア)』をリリースしました。全柔連の



柔道着・合気道着の最新ブランド「REIGEAR」



### 日本文化を伝えるやり甲斐

建築業界から転じて3年目の木村社長は「武道具の業界は狭いものの、日本文化を扱うやり甲斐

新規格に適合した最高級品です」  
「峰」や「REIGEAR」を製造するのは、岩手県久慈市の久慈工場。久慈市が「柔道の神様」と称えられる柔道家・三船久蔵の出身地であることから「久慈製」であることもブランドの価値向上に一役買っています。  
「防具を作る職人さんが減り、技術の伝承に対する危機感を感じています。質が良く、高価でも確かな付加価値のある国産品の新商品プロモーションを通じて需要を喚起し、伝統技術の継承に寄与するのにもメーカーの役目だと考えています」

斐や面白みを感じている」そうです。親会社の京都東山堂は武道具通販の草分けで、そのサイトを見た外国人が、鎧兜や模造刀、手裏剣なども並ぶショールームに興味を持ち、訪ねて来ることも増えています。  
「建築業の経験をショールームの設計に活かすことができました。柔道や空手は海外でも人気があり、最近では剣道への関心もさらに高まっています。日本製品の良さを理解してくれる外国人は多いのにリアルな市場としては未開拓。まずはグループとして業界のリーディングカンパニーになり、ミツボシというブランドの認知度を高めていきたいと思えます」



ショールームには海外の観光客も訪れます

平成29年度

# 新宿区産業振興フォーラムを開催します！

新宿区は毎年、区内企業、地域団体、経済関連団体等が一堂に会し、経営課題をテーマとした意見交換を行い、事業発展のきっかけをつくることを目的とした産業振興フォーラムを開催しています。今年度は、ICT(IoT、AIなど)をテーマとし、様々な業種の観点から最先端ICTの必要性や活用方法について学ぶ機会とします。



- 【日 時】**平成29年11月17日(金) 18:00～21:00
- 【会 場】**新宿区立産業会館(BIZ新宿) <新宿区西新宿6-8-2>
- 【内 容】**●第1部 講演  
●第2部 パネルディスカッション  
●第3部 参加企業による交流会
- 【参 加 費】**無料
- 【対 象】**企業、個人事業主、商店会、経済団体関係者、教育機関、金融機関、区民など  
※全体で150名程度の参加規模で実施します
- 【募集期間】**10月17日(火)～11月8日(水) 定員に達し次第締め切ります
- 【主 催】**新宿区
- 【後 援】**東京商工会議所新宿支部 / 新宿区商店会連合会



平成28年度産業振興フォーラム

【問合せ・申込先】文化観光産業部 産業振興課 電話 03(3344)0701

## TOKYO GUARANTEE 東京信用保証協会 中小企業のみなさまを応援します

東京信用保証協会は、中小企業のみなさまが金融機関から事業資金をお借入する際、『保証人』となることで資金調達をスムーズにする役割を担う公的機関です。

**無担保での利用が可能**

保証付融資の9割以上が無担保でのご利用です。

**ご利用メリット**

**ニーズに応じた資金調達が可能**

協会独自の制度のほか、東京都・新宿区の「制度融資」がご利用可能です。短期資金から最長20年の設備資金まで豊富なメニューをご用意しています。

**さまざまな経営支援メニューが利用可能**

保証による金融支援のほか、経営に関するご相談、ビジネスフェアや公開講座の開催など、経営支援も行っています。

主な保証制度

**創業保証**

これから創業したい方、創業して間もない方へ

**流動資産担保融資保証(ABL)**

「売掛債権や棚卸資産」活用し資金調達を行う方へ

**当座貸越根保証**

資金ニーズに合わせてお借入、ご返済を希望される方へ

**特定社債保証(私募債)**

資本市場から直接資金調達を行う方へ

**セーフティネット保証**

取引先の倒産、災害、取引金融機関の破綻などにより経営の安定に支障が生じている方へ

【問合せ先】東京信用保証協会 新宿支店 電話 03(3344)2251 ※詳細は協会ホームページをご覧ください。http://www.cgc-tokyo.or.jp



今年も開催!

## 新宿産業観光フェア2017

お出かけください!



# しんじゅく 逸品マルシェ



**【開催日】**平成29年11月12日(日) 10:00~19:00 **【会場】**新宿駅西口広場イベントコーナー  
11月13日(月) 10:00~17:00 **〈新宿区西新宿1丁目 西口地下街1号〉**

新宿の産業や国際観光都市としての新宿の魅力を多くの方に知っていただくために、今年も『しんじゅく逸品マルシェ』を開催します。区内企業や関係団体による自慢の逸品販売や、染色や印刷、革小物などの体験コーナー、また、ステージでの楽しい催しもあります。

**【主催】**新宿区 / 一般社団法人新宿観光振興協会



区内のお店による逸品販売があります!



大人も子どもも  
楽しめる体験コーナー、  
今年もあります!



**【問合せ先】**文化観光産業部 産業振興課 電話 03(3344)0701

## 中小企業展示会等出展支援補助金

後期募集中

販路拡大のため、区内の中小企業が初めて参加する展示会・見本市等に出展する費用の一部を補助します。

**【対象】**新宿区内の中小企業者(全業種が対象)

**【補助金額】**1件10万円まで(出展小間料の2/3以内)

**【申込期間】**平成29年10月2日(月)~平成30年3月15日(木)

ただし、募集件数に達し次第受付を終了します

**【申込み方法】**交付申請書に必要な書類を添えて文化観光産業部産業振興課(西新宿6-8-2 BIZ新宿4階)までお持ちください

※「応募要項」と「交付申請書」は、区ホームページからダウンロードできるほか文化観光産業部産業振興課でも配布しています

**【問合せ先】**文化観光産業部 産業振興課 電話 03(3344)0701

# イチオシ商品 商談会 in 新宿

## ただいまエントリー募集中!

新たな販路開拓、売上増加に向けて貴社のイチオシ商品をバイヤーに提案してみませんか? 複数バイヤーに対し、複数商品のエントリーが可能です。

- 【日時】**平成30年2月8日(木) 午前または午後  
**【会場】**BIZ新宿(新宿区立産業会館) 1階 多目的ホール<新宿区西新宿6-8-2>  
**【対象】**食料品・非食料品に関連した企業  
**【参加バイヤー】**AKOMEYA TOKYO(株)サザビーリーグ) 伊藤忠食品(株) エスカマーレ(株)アデガワ) (株)小田急百貨店 (株)カタログハウス シミズヤ(株)アドバンスクリヤマ) (株)大丸松坂屋百貨店法人営業推進部 (株)高島屋 (株)東急ハンズ (株)日本文化センター (株)三越伊勢丹フードサービス  
**【参加費】**無料  
**【エントリー期間】**9月5日(火)~11月7日(火)  
**【主催】**興産信用金庫 西京信用金庫 さわやか信用金庫 城北信用金庫 昭和信用金庫 巣鴨信用金庫 西武信用金庫 東京三協信用金庫 東京シティ信用金庫 東京東信用金庫 日本政策金融金庫新宿支店 新宿区  
**【後援】**信金中央金庫 東京商工会議所新宿支部



バイヤーの情報やエントリー方法については、新宿区のホームページをご覧ください。下記までお問い合わせください。

**【問合せ先】**文化観光産業部 産業振興課 電話 03(3344)0701

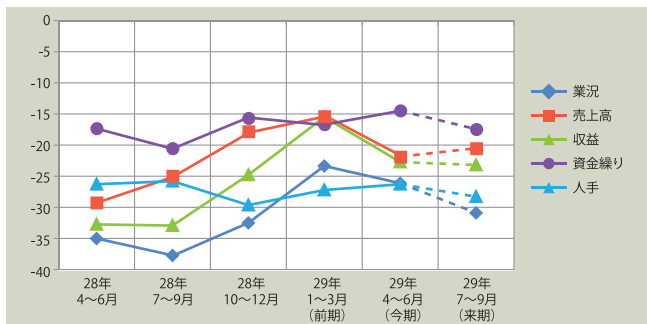
平成29年  
4月~6月期

## 新宿区中小企業の景況

新宿区では区内中小企業に対する「景況調査」を年4回実施しています

1. 調査時期 平成29年7月中旬
2. 調査方法 郵送アンケート調査
3. 調査対象業種 製造業(34件)、印刷・同関連業(47件)、染色業(18件)、建設業(37件)、情報通信業(39件)、卸売業(40件)、小売業(57件)、飲食・宿泊業(71件)、不動産業(41件)、サービス業(76件)  
※カッコ内は有効回答数
4. 調査機関 (株)東京商工リサーチ

### ●項目別DIの推移(全体)

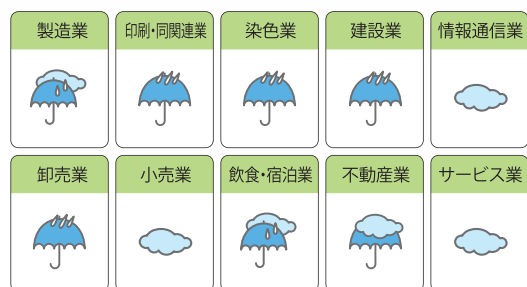


業況:経済全体の景気状態ではなく、個々の企業ないし産業の景気状況。  
 DI(ディーアイ):Diffusion Index(ディフュージョン インデックス)の略で、増加と答えた企業の割合から、減少と答えた企業の割合を差引いた数値のこと。DI値がマイナスの場合、業況・売上額・収益・資金繰りは不調傾向を、人手は不足傾向を示す。

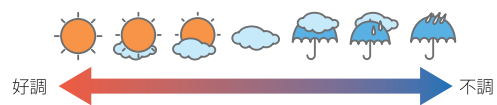
### ●4月~6月期の特徴

業況DI(「良い」企業割合-「悪い」企業割合)は-26.3と、前期(平成29年1月~3月)の-23.3から悪化した。来期(平成29年7月~9月)の見通しは-30.7で引き続き低迷すると見込まれている。

### ●業種別調査結果(4月~6月期)



### 景況調査の読み方



景況調査の詳細は、新宿区ホームページをご覧ください。